

在宅医療連携ガイド作成の アンケート結果報告

2012・10・27

石巻市立病院開成仮診療所
(在宅医療連携拠点事業所)

概要

■ アンケートの目的

- 地域の医療介護資源を把握し、異なる施設に所属する多職種の人たちの連携を推進する。また、在宅医療や多職種連携の課題を抽出し、解決策を検討することで、今後の事業に反映させる。

■ 調査期間

- 平成24年9月8日(土)～9月17日(月)

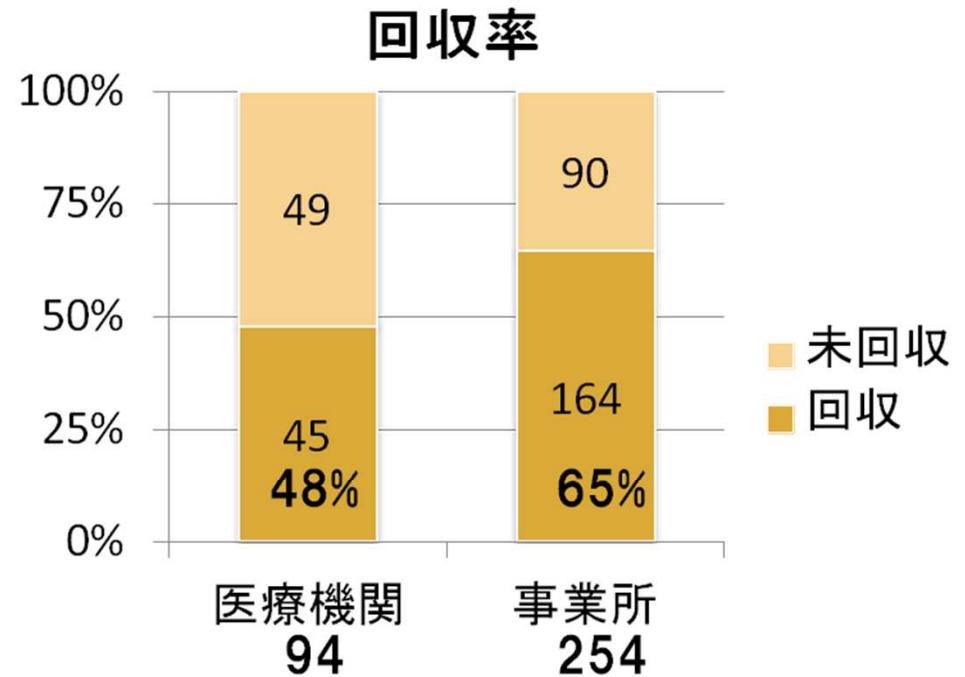
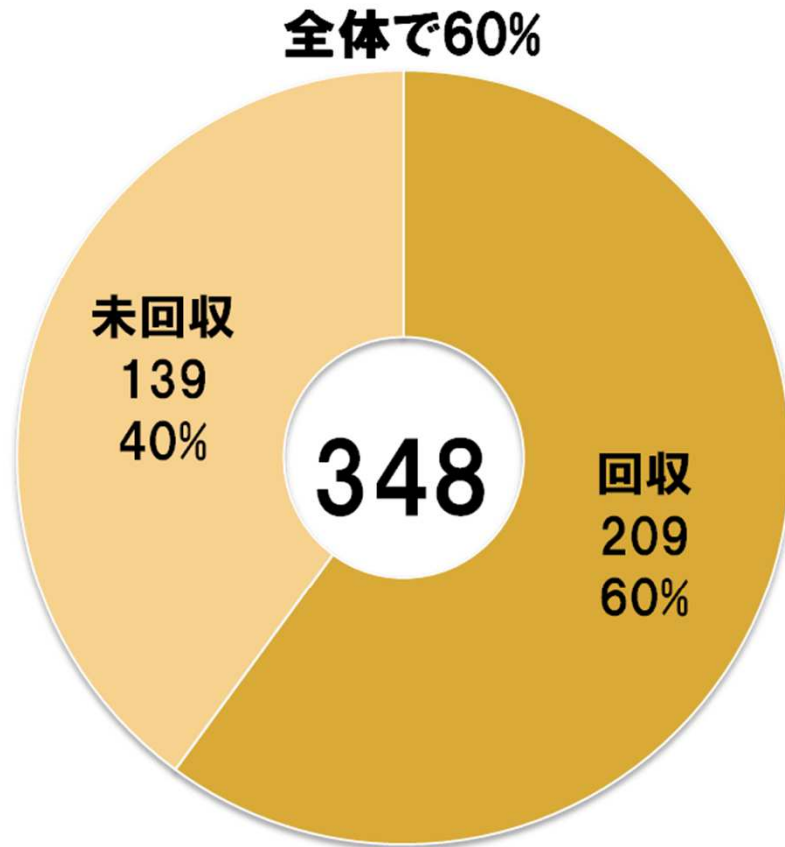
■ 調査対象

- 石巻圏域の主な医療機関、介護サービス事業所等 348ヶ所

■ 方法

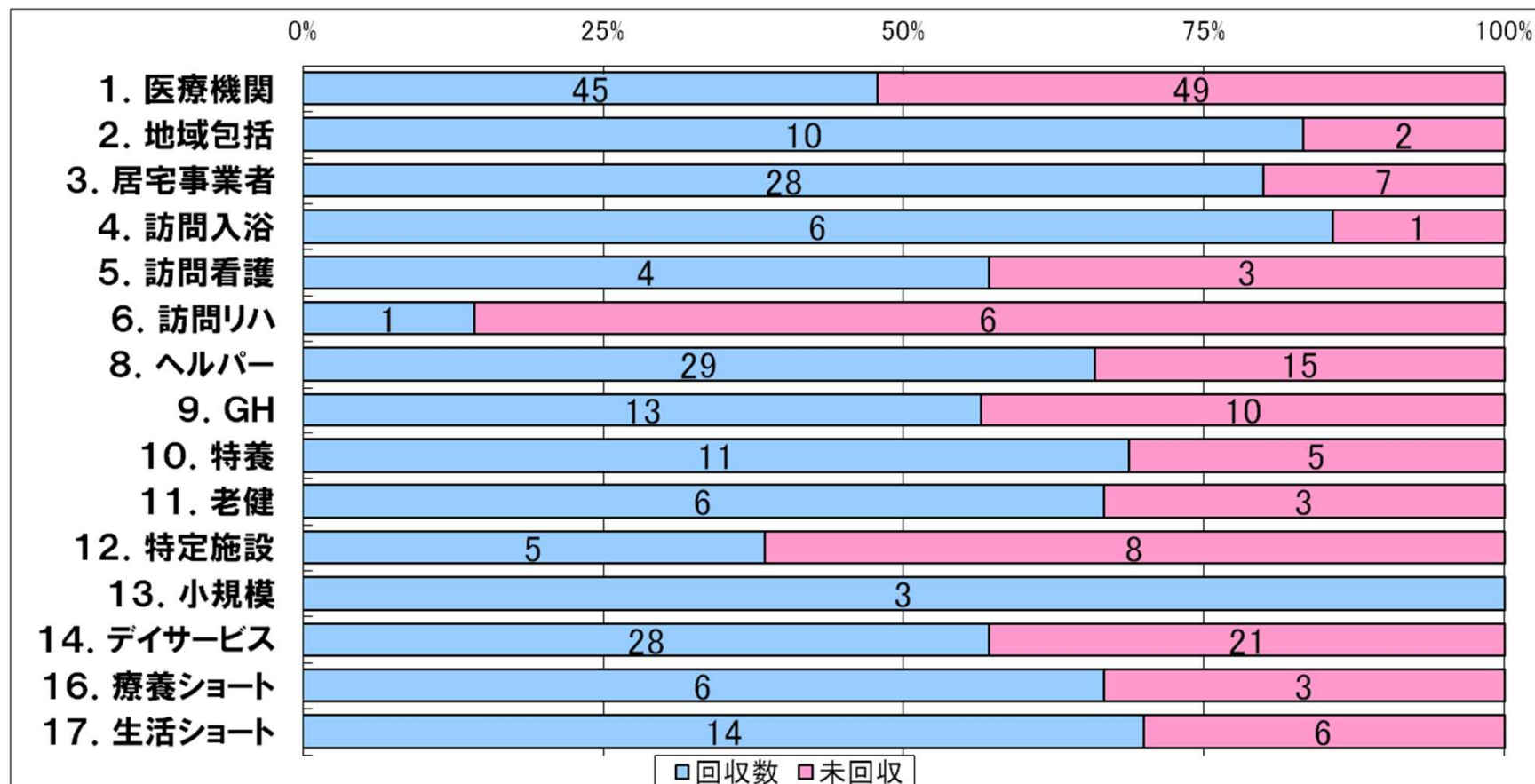
- 調査用紙郵送による質問紙法

アンケート回収率



医療機関より、介護サービス事業所からの回収率が高い！

事業所毎のアンケート回収率



医療機関の回収率の低さに加え、訪問看護・訪問リハビリの回収の低さは、医療系全体の在宅医療への関心の低さを表している???

現 状

	人口	医師数	診療所数
全国	127,057,860	295,049	99,824
石巻市	160,826	262	106
割合	0.13%	0.09%	0.11%

全国と石巻市を比較すると
1. 医師数が少ない
2. 診療所数が少ない

人口の割合に対し、全国の医師数で計算
 $295,049 \times 0.13\%$

383 人

人口の割合に対し、全国の診療所数で計算:
 $99,824 \times 0.13\%$

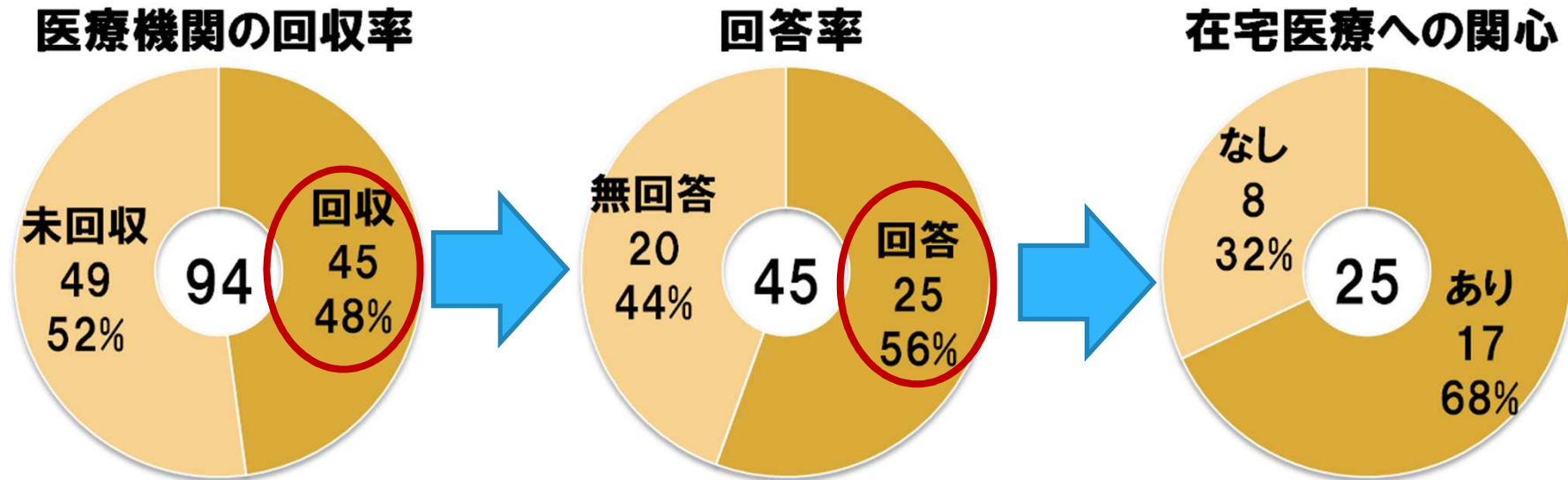
130 ヶ所

	診療所数	支援診療出数	割合
全国	99,824	12,552	12.57%
石巻圏域	115	7	6.09%

3. 支援診療出数が少ない

全国と比較すると
約半分の割合

在宅医療への関心



**回答ありは94ヶ所中25ヶ所、回答率はわずか26.6%！
この回答率の低さは・・・？**

在宅医療を始める際、障壁は何だと思われますか？

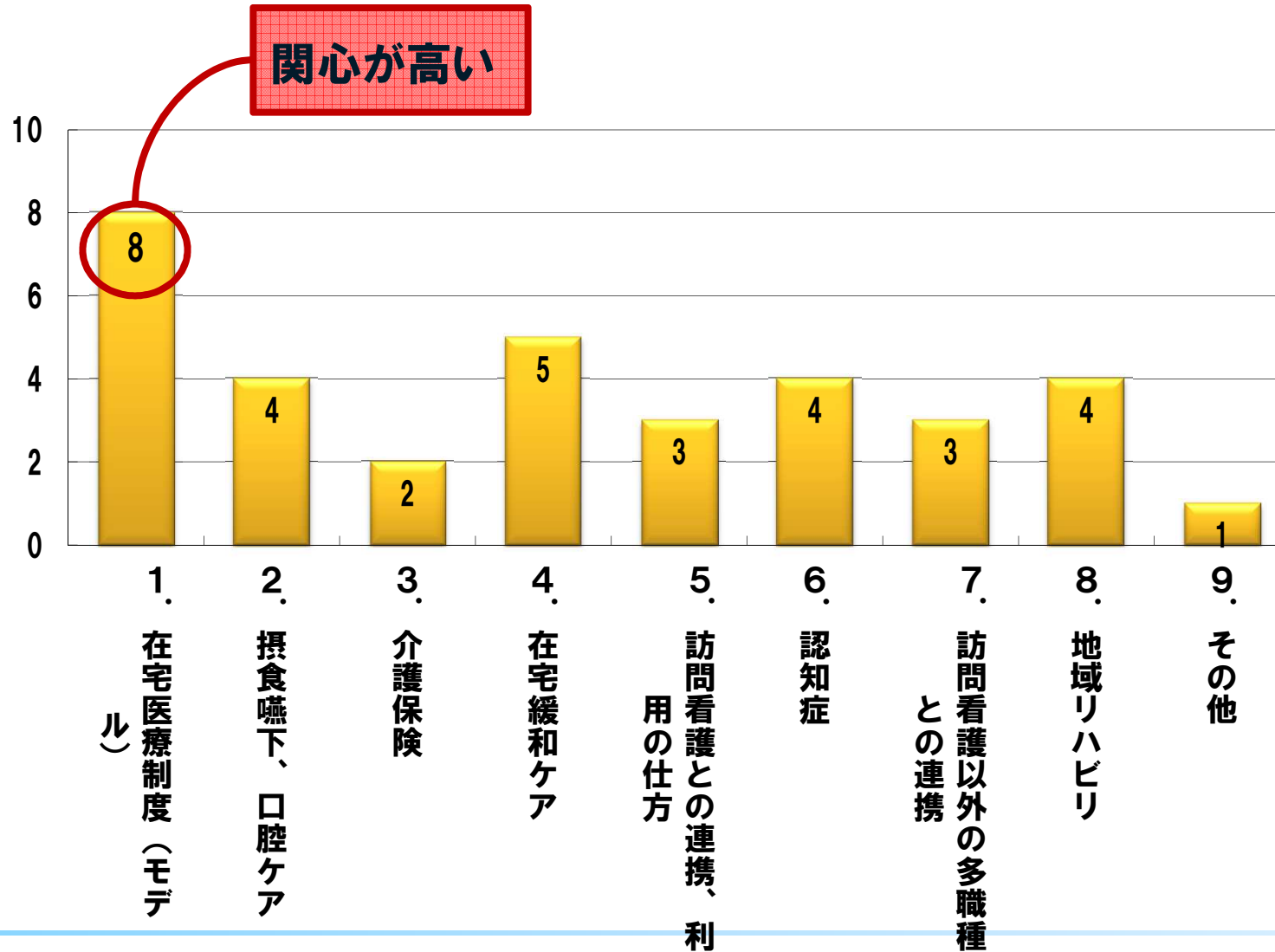
■ 自由回答

- 医師や看護師の数の不足(4件)
- 夜間対応の介護サービス不足
- 通常外来が混みすぎているため
- バックアップ病院がない
- 医師の高齢化
- 眼科医なので関わり方が難しい
- 医師が複数いない(2件)
- 家族の介護力・経済力、家族へのバックアップ不足
- 在宅医療に充てる時間がとれない
- 医師の体力
- 訪問診療時、外来診療ができない



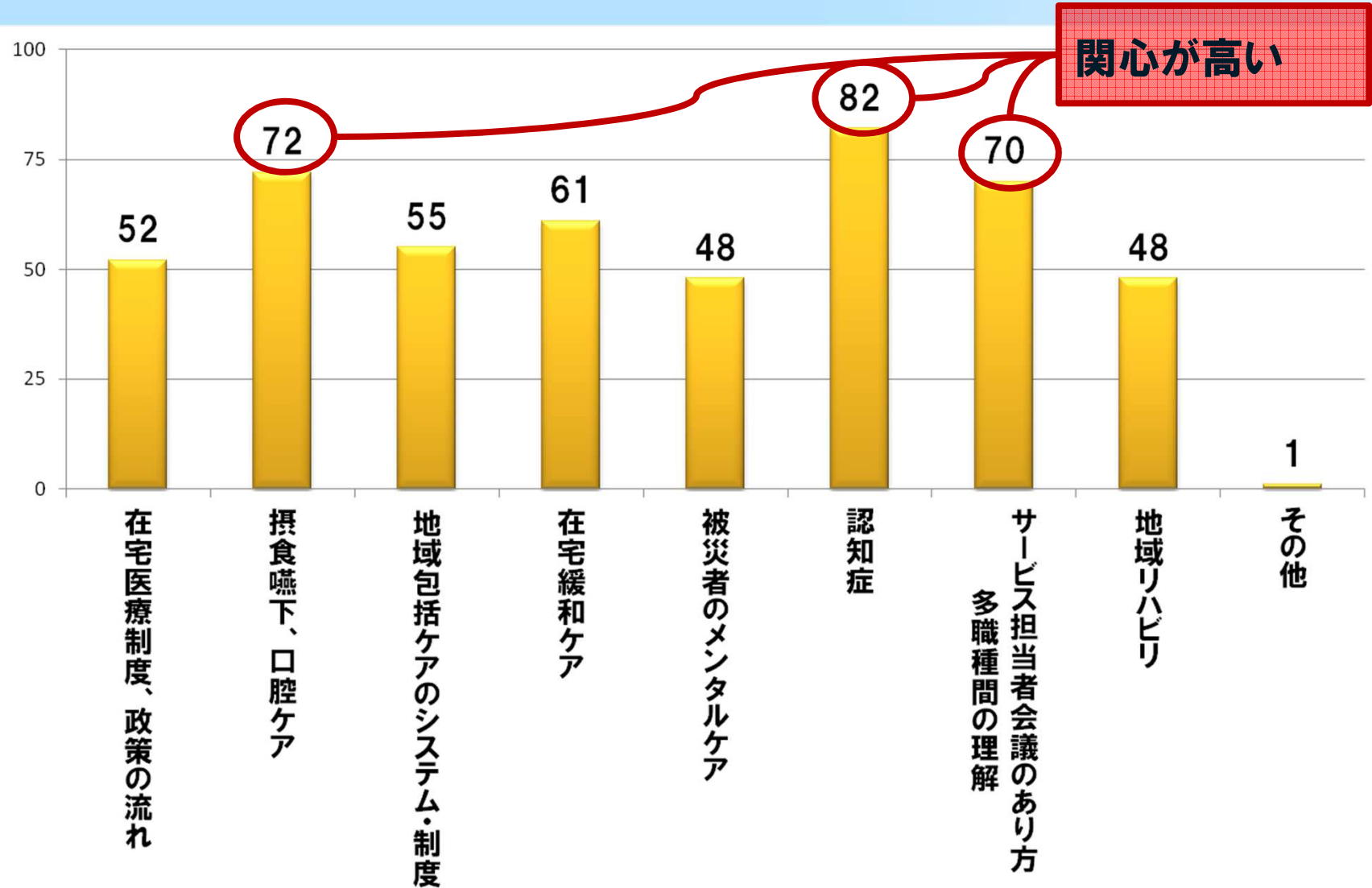
興味のある勉強会

医療機関



興味のある勉強会

事業所全体



多職種連携で困っていることなど

■ 地域包括支援センター回答

- それぞれの職種の役割を理解してほしい
- 医師会との連携は難しい
- 関係者の意識改革に相当な時間が必要
- サービス担当者会議に医療職の参加を依頼しづらい
- 地域によっては社会資源に乏しく、ボランティア団体撤退後のサービス不足が心配
- 医療連携室のない病院や開業医との連携が不十分
- 地域により、24時間対応の在宅医療提供体制の構築が必要



多職種連携で困っていることなど

- 介護事業所回答(地域包括支援センター回答を除く)
 - 医療機関との壁を感じる、敷居が高い
 - 多職種での交流機会、情報交換が不足している
 - 多職種の連携がスムーズに行われ(特に、連携室のない病院)
 - 医療の知識が不足している
 - お互いの業務領域が不明確
 - リハビリのニーズが利用につながない
 - 情報が一方通行で情報共有ができていない
 - 人員不足
 - 災害時に安心できる体制がない
 - 夜間、休日の在宅医療のシステムが築かれていない
 - 専門医の訪問診療体制がない
 - 嘱託医の対応できない時間帯のフォロー体制がない

多職種連携で困っていることなど

■（つづき）

- 行政担当者との連携不足
- PTSDの発症、BPSDの進行等の利用者への対応法
- 地域により医療機関、介護サービスが不足
- 在宅医療、福祉についての体制やシステムが未整備
- 嘱託医が対応できない時間帯の対応

まとめ

- 医療機関との連携のむずかしさ
- スムーズな情報共有が不足
- 多職種間でのお互いの理解が不足
- 交流の機会が不足